

本校の教育

【本校の概要】

本校は、信夫山の北側にあり、福島市の中心部から国道4号線を仙台方面に北上し、松川橋手前を左折して200mほどの場所にあります。
本校は、知的障がいのある児童生徒を対象とする、福島県で初めての知的障がい養護学校として昭和40年4月に開校し、小学部と中学部が設置されました。また、昭和47年4月に県内で初めて高等部が設置され、現在に至っています。

【本校の経営方針】

- 学校は、かけがえのない子どもたちの「心の命」と「体の命」をお預かりしています。それらを全力で守ります。(授業の充実、凡事徹底)
- 子どもたちの将来の自立と社会参加のために、どのような力を付けていくことができるか、常に目の前の子どもを観て考えます。
- 子どもや保護者、地域との信頼関係の構築に努めます。

【本校の沿革】

昭和40年 4月 福島市立福島養護学校開校
(小・中各3学級、福島第四小学校仮校舎)
昭和41年 4月 校舎移転
昭和42年 3月 校章制定
昭和47年 4月 高等部開設
昭和57年 3月 校旗制定
平成 7年 5月 同窓会設立
平成15年 5月 早期教育相談ひよこ教室開設
平成20年 9月 プレハブ作業棟完成
平成24年10月 第50回東北特別支援教育研究大会
平成26年10月 創立50周年記念式典・福養祭
平成31年 3月 仮設小学部棟完成
令和 3年 4月 校名変更「福島市立ふくしま支援学校」
令和 3年 6月 新校舎棟・ものづくり棟完成
令和 4年 4月 校歌歌詞一部変更
令和 5年 6月 新管理棟・体育館完成
令和 6年 3月 駐車場完成
令和 6年10月 創立60周年記念式典・福養祭

学校教育目標

- 1 自分で決める(自己選択・自己決定)子ども
- 2 相手を思いやる感性(心)豊かな子ども
- 3 社会につくそうと努力する子ども

めざす学校像

児童生徒の教育的ニーズを踏まえた最適な学びを進め、一人一人のよさや可能性を伸ばし、保護者から信頼される学校

めざす児童生徒像

友達や教師、地域の人との関わり合いのなかで、成長していく子ども
あかるく やさしく たくましく

めざす教師像

- ・ 謙虚な姿勢で(子ども、保護者、同僚、地域から)学び続ける教師
- ・ 安定した大人として子どもの成長の伴走者となる教師
- ・ 多様な価値観を認め、支え合う教師

重点努力事項

- 1 児童生徒一人一人の可能性を引き出す授業実践
(個別最適な学び、協働的な学び、効果的なICTの活用、学びの連続性)
- 2 子どもたちが安心安全に過ごせる教育環境の改善・充実
(凡事徹底 「～かもしれない」という危機意識)

小学部

- ① すすんでのしく活動する子
- ② みんなとなかよくする子
- ③ あかるくげんきに生活する子

中学部

- ① 自分で考え、意欲的に生活する生徒
- ② 相手を思いやり、みんなと仲良くする生徒
- ③ 健康に気を付け、粘り強く最後まで取り組む生徒

高等部

- ① 自ら学び、考え、行動する生徒
- ② 心身ともに健康で、何事にも粘り強く取り組む生徒
- ③ 社会のきまりを守り、積極的に集団活動に参加する生徒

就 労

保育所・幼稚園など

◎基本的な生活習慣
◎身近な人との関わり
◎社会性主体性

●日常生活の指導
●生活単元学習
●生活、国語、算数、音楽、図画工作、体育
●自立活動
●学級活動
●クラブ活動
●学校行事

●日常生活の指導
●生活単元学習
●作業学習(現場実習)
●国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育
●総合的な学習の時間
●自立活動
●学級活動
●学校行事

●日常生活の指導
●生活単元学習
●作業学習(現場実習)
●国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、職業、家庭、選択教科
●総合的な探究の時間
●自立活動
●ホームルーム活動
●生徒会活動
●学校行事

自立と社会参加
豊かな心
で主体的
に生きる

年間行事

月	行事名	月	行事名	月	行事名
4	入学式、第1学期始業式	8	第2学期始業式	1	第3学期始業式
4	個別教育懇談	9	修学旅行(中3)、宿泊学習(高2)	1	合同卓球・ボッチャ大会(中)
4	授業参観、PTA総会	9	授業参観、個別教育懇談	1	新入生オリエンテーション
5	運動会(小)	10	福養祭	1,2	地区合同作品展
5,6	現場実習(中・高)	10	現場実習(中・高)	2	授業参観、個別教育懇談
6	宿泊学習(中1,2)	11	修学旅行(小6)	3	卒業式(高)
7	修学旅行(高3)、遠足(高1)	12	高等部入学者選考[休業日]	3	卒業式(小・中)
7	第1学期終業式	12	第2学期終業式	3	修了式